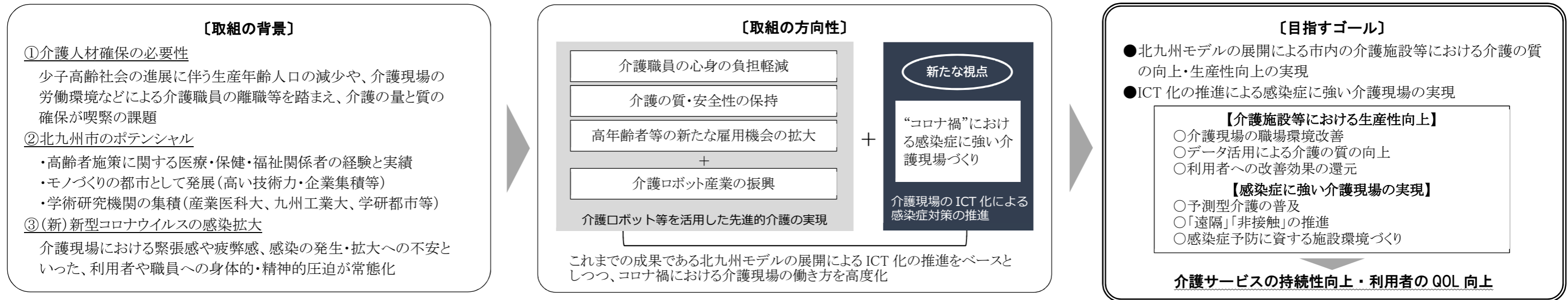


(R3以降) 先進的介護「北九州モデル」の展開等による介護現場の生産性向上等に向けた取組の推進

【取組みのフレーム】



【取組みのフェーズ】

(H28～R2)

～実証・開発・導入～

- 先進的介護の実現に向けた導入実証
- 北九州モデルの構築

【取組みの内容・成果】

(1)介護業務の見える化

介護業務の作業観察・分析により、介護現場の全体像や課題を把握

(2)介護ロボット等の導入実証

- ・作業分析結果を踏まえた導入実証(H28～H29)
- ・移乗介助に関するマニュアル作成、効果的な人員配置の検証(H30)
- ・介護現場の新しい働き方「北九州モデル」の実証仮説の検証(R元)

(3)先進的介護の「北九州モデル」の構築

ICT・介護ロボット等を活用した介護現場の新しい働き方「北九州モデル」の構築(R元)及び横展開に向けた方策検討(R2)

(4)介護ロボット等を使いこなす専門人材の育成

本市独自の人材育成手法として確立した「介護ロボットマスター育成講習」を開催(H29～)

(5)介護ロボット等の開発・改良支援

導入実証に関する事業効果の最大化を図るため、FAIS内に「北九州市介護ロボット開発コンソーシアム」を設置(H28～)

コロナ禍における介護現場のICT化
横展開
汎用化
支援体制づくり
対象拡大
介護の自動化
対象分野拡大

【新たな施策の方向性】

＜先進的介護「北九州モデル」推進事業＞

【先進的介護の付加価値を高める新たな展開】

【これまでの成果の横展開】

【介護データの分析・活用】
○データ分析による「予測型介護」の研究
○北九州モデルのプロモーション強化によるデータ収集の加速化

【遠隔・非接触の推進による働き方の高度化】
○3密などの感染リスク低減に資するICTを活用した働き方の高度化に関する検討

感染症に強い介護現場づくり

【施設環境を対象とした感染制御に関する研究】
○介護施設における効果的な換気方法等に関する研究
○施設内の構造物や空間の効率的な浄化等に関する研究

取組みの土台
(ICT化の推進)

【北九州モデルの効果を高める機器の開発・改良】
○介護作業の自動化を推進するセンサーやICTを含む機器間連携の仕組みの構築等
○介護施設が取り入れやすい介護ロボット等導入の仕組みづくり(リース、サブスクリプション等)

【北九州モデルの展開】
○市内特別養護老人ホームへの北九州モデルの展開(相談支援拠点の設置・ガイドライン活用)
○ガイドラインのアップデート(従来型施設バージョンの付加等)
○施設系介護サービス(老健・GH等)における介護ロボット等を活用した職場改善の推進(対象拡大)
○介護施設が生産性向上に取り組む上で、円滑な業務運営を行うための環境づくり支援

(R3～R5)

～社会実装+感染症対策に資する先進的介護の新たな展開～

- 北九州モデルの展開
- コロナ禍における先進的介護の付加価値を高める新たな展開
- 北九州モデルの効果を高める機器の開発・改良

事業名：先進的介護「北九州モデル」推進事業
事業費：64,000千円/年度
財源：地方創生推進交付金(1/2) ※申請中

(R6～)

～効果的展開～

- 社会情勢等を踏まえ成果を展開・運用

【成果の展開・運用】

